



き ず な

第255号

発行所:〒399-8695
 北安曇郡池田町池田3207-1
 TEL(0261)62-3166代
 JA長野厚生連安曇総合病院
 発行責任者:院長 中川 真一
 編集:きずな編集委員会
<http://www.azumi-ghp.jp/>

龍門寺住職 佐々木一生氏 講演

「いのちを見つめて」

緩和ケアチーム 古田 康
 精神科医師

今回緩和ケア公開講座として2回目の外部講師を向かえての口演となりました。「緩和ケア」には当人の心のケアはもちろん、遺族ケアも含まれます。また、日本人の生活の節目節目には仏教が根付いています。どちらの意味でも、私たちの大先輩である佐々木先生からお話を聞いたことは、貴重な体験でした。

人間には4つの苦悩があります。「生老病死」です。後者の3つはすぐに理解できませんが、仏教では「生」生きることも苦悩と考えている点は驚きです。しかし、考えてみると永遠に「生」が続くとし

たら、それは苦しいことだと思いません。生きとし生けるものすべてに終わりがあ、それが慈悲だとしたら納得です。また「生」の尊さにも触れました。私たちに両親がいて、両親のそれぞれにまた両親がいる、30代さかのぼれば、一人の「生」におよそ1億人の人たちが関わり、そのどの一人が欠けても私は存在しないのです。

「生」と「死」のどちらも有難いものです。人間には「いろいろなものを愛でる」という能力は与えられましたが、「自分の死期を悟る」という能力は奪われたかもしれませ

ん。そのために「死」に直面したときの苦悩は大変なもの

です。「死」に直面している患者に対し、医療関係者としてどういうケアが出来るか、この問いに正解はないと思います。どのような声がかけても、患者にとつて陳腐なものかもしれません。なぜなら、私たちの誰も「死」を経験したことがないのだから。私は、ただ患者に寄り添うことだと考えています。患者さんが家族・友人：医療関係者、色々な人とのかわりを最後まで全うできるように。

最後に佐々木先生のお話は非常にウィットに富み、興味深かったのでいくつか紹介したいと思います。一日の始まりである「朝」、人生の始まりである出産、出産のために

は母体で十月十日を経る。「朝」という漢字には十月十日という漢字が全て入っている。もう一つ紹介します。除夜の鐘は百八つ、人には百八つの苦悩がある。四苦八苦とかけて、 $4 \times 9 = 36$ 、 $8 \times 9 = 72$ 、 $36 + 72 = 108$ 。このように佐々木先生のお話は、聴衆を最後まで飽きさせず、功德のあるお話でした。佐々木先生ご講演ありがとうございました。

さて、当院での緩和医療も3年目を向かえ、内容も日々充実したものとなりつつあります。緩和医療でお困りの際は、「あずみがん相談窓口」または、担当の緩和ケアチーム職員までお気軽にお問い合わせいただければ幸いです。



四季おりおり

花見のあとに残されたいくつかの提灯をゆらして、晩春の風が吹く。葉桜は日一日とその緑をまして、空を隠し始めた。皐月五月。夜はまだまだ冷え、時折り落ちる雨のしずくは冷たいけれど、昼ひなかにはもう、薄暑を感じる時候となった。「葉桜の影広がりに深まりき(星野立子)」
 「花は葉に巻けば細身の男傘(岡本眸)」▼次々に花が咲く春は楽しい。通勤路に大きな辛夷の木があつて、白くひらひらした花を一面に咲かしているのが壮観である。近くの畑は最近菜の花畑に転身し、黄花の波のなかでポーズをとる子にカメラを向ける父親の姿が風物詩になった。「花辛夷信濃は風の荒き国(青柳志解樹)」
 「菜の花の散りこぼれたる堤かな(瀧井孝作)」▼田植えが始まり、毎日の天候や寒暖の塩梅に気を遣われている方も多かろう。もうじき、蛙が啼きだし、日が延び、そして立夏が来る。「田を植えるしづかな音へ出でにけり(中村草田男)」
 「田一枚植えて立ち去る柳かな(芭蕉)」

新任医師挨拶



内科医長
塩月 記代

平成10年に東京医科歯科大学を卒業後、東京都立府中病院で研修し、北信総合病院循環器内科で3年間修業(?)しました。その後は高森町の下伊那厚生病院で5年間一般内科医として勤務し、この春当院に転勤となりました。以前は登山が趣味でしたが今は子育てが趣味(修業?)になっています。現在第2子を妊娠中で、7月下旬より産休をいただきます。予定となっています。ただ、早く大変なご迷惑をおかけして申し訳ありませんがよろしくお願いたします。



呼吸器科
池川 香代子

4月から安曇総合病院にお世話になることになりました。池川香代子です。平成17年に福島県立医科大学を卒業し、

出身の長野県に戻って来ました。初期研修を信州大学たすきがけプログラムで受け、昨年、信州大学呼吸器内科に入局しました。

微力ながらも地域の患者さんのお役に立てるように、また、自分自身も日々成長する様頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



歯科口腔外科
酒井 洋徳

平成11年3月に奥羽大学歯学部を卒業し、地元である長野県で仕事をしたいと思い、信州大学医学部歯科口腔外科に入局いたしました。その後県内の病院や、信州大学麻酔科、法医学教室などで研修や研究をさせていただき、この度安曇病院歯科口腔外科にお世話になることとなりました。専門は口腔外科一般です。大北地域の医療に貢献できるよう努力させていた、いただきます。よろしくお願いたします。

新任職員紹介



後期研修医
樋端 佑樹



初期研修医
和田 洋典



保健師
松本 ゆかり



看護師
有賀 生幸



看護師
太田 しのぶ



看護師
大日方 翔子



看護師
勝野 千恵美



看護師
勝野 浩代



看護師
栗林 由里香



看護師
嶋田 真理子



看護師
等々力 好美



看護師
中村 潤一



看護師
藤澤 景子



看護師
宮田 亜沙美



看護師
横山 美奈子



診療放射線技師
菅原 学



診療放射線技師
藤松 仁志



診療放射線技師
松本 桂



臨床検査技師
望月 静佳



理学療法士
中山 純也



理学療法士
平川 慎



理学療法士
龍崎 大地



作業療法士
藤田 有記



作業療法士
松村 奈美



管理栄養士
桑原 友和



管理栄養士
竹内 秀幸



医療ソーシャルワーカー
大塚 康平



心理療法士
吉田佳保里



調理師
細川 直美



調理師
吉江 一彦



事務
遠藤 稔博



事務
友成 晴日



事務
西澤 雄一



看護師
高橋 幸子



看護助手
矢下彩綾佳

わいわい

施設課 倉科 広三

医療機器販売のお仕事で毎日のように病院で見かける営業マンのTさん。得意先回りをする時はいつもニコニコ顔です。

訪問先の受付では「Tさんはいつも笑顔ですね、機嫌の悪い時はないのですか？」とよく言われます。「それはいろいろとありますよ、でも、明るさと元気の良さが私の取り柄だと思っていますから」と明るく答えるTさんです。

Tさんの笑顔の原点は、過去にいつも元気な先輩を外から眺めていて「自分もあんなりたい」と思ったことでした。以来、常に明るく元気な態度で人に接することが、営業担当として今の変わらぬ姿勢になつていくようです。

たとえ何が起ころうとも、変わらぬ笑顔、対応、モチベーションを維持するのは簡単なことではありません。それだけに、そのような人物を目の前にした時、人は心を動かされるものです。

一本、すじの通った姿勢を貫くことは周囲に大きな安心感を与えます。私たちも軸のブレない安定した笑顔で患者さんをお迎えしたいですね。

トピックス・アズミ

▼3月21日、糖尿病に関する話題と題して、第19回栄養勉強会を開催しました。



▼3月31日、定年退職者、3月31日付退職者辞令交付式および送別会を行いました。



▼4月2日、新入職員歓迎会を行いました。

ボランティアコーナー

桜も葉桜となり、新緑の季節になりました。若葉が目にも鮮やかで、爽やかな今日この頃です。

さて、先月のきずなでもお知らせいたしました。今年度のボランティア講座を今月予定しております。
日時：平成20年5月17日(土) 14時～16時
場所：外来棟会議室

当院でのボランティア活動を希望されている方を対象とさせていただきます。参加希望についてはまだまだ受け付けておりますので、詳細については看護部長室もしくは医療相談室までお問合せください。

以上、よろしく願いいたします。

編集後記

冬を越した菜の花の新芽やほうれん草をこのごろよくいただき、緑鮮やかなおかずが食卓へ並び、食べてみるとなんとおいしい甘みがある。今の季節にしか味わえない物を食べるとなぜか元気が出てきます。

安曇総合病院理念

私たちは、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供につとめます。私たちは、事業活動を通じてJAGグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちは、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。

私たちは、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

基本方針

- 。皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。
- 。皆さまの権利とプライバシーを尊重する。
- 。皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいただくことを全ての医療活動の前提とする。
- 。近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。
- 。地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。
- 。在宅医療支援活動の増進につとめる。
- 。保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進に貢献する。
- 。病院職員の健康・福祉の増進につとめる。
- 。適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。
- 。厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。

《 担 当 医 表 》

平成20年5月

		月	火	水	木	金	土
内科	内科(一般)初診	久野裕司 多田井敏治	東方壮男 池川香代子	川上裕隆 池川香代子	岡田光代 塩月記代	早野敏英 塩月記代	池川香代子 多田井敏治
	内科(一般)再診(予約制)	川上裕隆 東方壮男 林田研介	川上裕隆 岡田光代 林田研介	早野敏英 東方壮男		中川真一(9時30分~) 川上裕隆 林田研介	早野敏英 岡田光代
	循環器科	東方壮男	池田宇一(信大)	東方壮男	矢嶋紀幸(信大)		
	呼吸器科	花岡正幸(信大)	岡田光代		岡田光代		信 大
	神経内科	中川真一 (9時30分~)	浅野昌宏	中川真一 (10時~)	林田研介(10時~) (紹介患者さんのみ)		林田研介
	血液内科		川上裕隆	川上裕隆			
	消化器内科	久野裕司		久野裕司			
	専門外来(信大医師)				一條哲也(肝臓) 上條祐司(腎臓)		信 大 (リウマチ・膠原病)
精神科・心療内科	精神科 心療内科	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 衛藤高明	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 樋端佑樹	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 衛藤高明	村田志保(第2・3・4・5) 鬼頭 恆(第1・3・5) 中村伸治(第1・2・4) 長村哲周 古田 康 樋端佑樹	村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 衛藤高明 吉本隆明(信大)	鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 樋端佑樹
	夜間診療(予約制)			村田志保 鬼頭 恆 中村伸治 古田 康 衛藤高明			
	認知症外来				浅野昌宏		
小児科	午前	信 大 原 敏博	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 (保刈 健)	保刈 健 (原 敏博)	原 敏博 又は 保刈 健	信 大 (原敏博又は保刈健)
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)		慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)	
外科	一般外来	金谷 洋	佐藤敏行	佐藤敏行	金谷 洋	金谷 洋	佐藤敏行
	呼吸器外科	花岡孝臣(午後)			花岡孝臣		花岡孝臣
	形成外科(受付15時30分まで)		三島吉登(信大) (13時から診療)		佐野貴史(信大) (13時から診療)		
	乳腺内分泌外科			信 大(乳腺) (完全予約制)		信 大(甲状腺)	
整形外科(受付10時30分まで)	最上祐二 藍葉宗一郎 柴田俊一 王子嘉人 (受付9時30分まで)	谷川浩隆 森岡 進 柴田俊一 高橋 淳(信大)	最上祐二 藍葉宗一郎 柴田俊一 王子嘉人	谷川浩隆 藍葉宗一郎 森岡 進 早坂 豪	谷川浩隆 最上祐二 森岡 進 畑 幸彦(信大)	(輪 番)	
皮膚科(信大医師)	芦田敦子		河内繁雄		太田由子 (第2・4・5土曜の前日のみ)	太田由子	
泌尿器科			石塚 修(信大)				
産婦人科	信 大	曾根原衛雄	信 大		信 大		
眼 科	太田いづみ	今井玲子		太田いづみ・今井玲子 (午後コンタクトレンズ要予約)	太田いづみ (受付10時まで)	今井玲子	
耳鼻咽喉科		信 大 (14時から診療)			信大(14時から診療) (第2・4土曜の前日のみ)	信 大 (受付11時まで)	
放射線科	信 大			信 大			
麻酔科(受付11時まで)	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	松本正紀	
リハビリテーション科	緒方洪之	王子嘉人	中川真一	中川真一	柴田俊一		
歯科口腔外科	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳 信 大(午後)	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳	中嶋哲・酒井洋徳	

☆第2・4・5土曜日(5月10日・24日・31日)と、祝日(5月3日~6日)は休診です。